

- 2001(平成13)年
 - ・弘前市が倉庫取得を一時断念
- 2002(平成14)年
 - ・奈良美智展弘前「I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME」開催(会期:8月4日-9月29日)
 - (主催:「奈良美智展弘前」実行委員会) 来場者数 58,724人、ボランティア参加者数 469人
 - ・8月4日、奈良美智DJによるライブイベント「ROCK' N' ROLL GYPSIE NIGHT」が開催される
 - ・松井みどり、児島やよいらをゲストに迎えた講演会や映画の上映会が開催される
 - ・会期終了後、こどもワークショップ成果展「We won't forget you. ぼく・わたしの中の奈良美智」開催
- 2005(平成17)年
 - ・「From the Depth of My Drawer」奈良美智展弘前 開催(会期:4月16日-5月22日)
 - (主催:同展実行委員会、NPO法人 harappa) 来場者数 20,019人、ボランティア参加者数 260人
 - ・土崎正彦、岩井康頼、原久子、齋藤奈緒子、齋藤浩を招いたレクチャーが開催される
 - ・会期中「I NEVER FORGET YOU.~From the Depth of My Drawer 弘前展の記憶~」開催(撮影:永井稚子)
 - ・12月、「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」展のための奈良美智作品オークションが行われる
- 2006(平成18)年
 - ・3月、grafとボランティアスタッフによる倉庫のリノベーションや会場づくりが始まる
 - 「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」展が開催される(会期:7月29日-10月22日)
 - (主催:同展実行委員会、NPO法人 harappa) 来場者数 77,343人、ボランティア参加者数 910人
 - 出品作家は奈良美智のほか、川内倫子、杉戸洋、三沢厚彦、ヤノベケンジ、米田知子、アンクリット・アシャチャリヤソープン、スティーブ・クッナーウィチャーヤノン、マイ・ホフスタッド・グネス
 - ・会期初日に bloodthirsty butchers によるライブ、奈良美智による DJ+ スライドショーが行われる。(弘前 Mag-net)
 - ・8月26日、「Midnight AtoZ」として、深夜1時まで開館。(奈良美智、ファッションデザイナー中野裕通とのトークなど)
 - ・『ねぶたまつり』に、奈良美智の様々な作品をモチーフに弘前市民が作る「ならねぶた」が運行。さらに、「ならねぶた」を奈良美智自身が審査する「ならねぶたコンテスト」も併せて開催
 - ・その他ゲストを招いたレクチャーイベントが会期中に多数開催される
 - ・ドキュメンタリー映画『NARA / 奈良美智との旅の記録』の先行上映会が会期中に行われる
- 2007(平成19)年
 - ・奈良美智氏による立体作品《A to Z Memorial Dog》が弘前市に寄贈され、10月21日に吉野町緑地に設置される



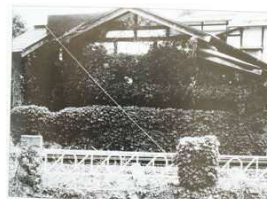
- 2010(平成22)年~2013(平成25)年
 - ・teco LLC. が事務所として利用
- 2010(平成22)年、2011(平成23)年
 - ・「岩木遠足」(主催:岩木遠足実行委員会)のイベント会場として使用される
- 2011(平成23)年
 - ・「弘前雪明り」が吉野町緑地にて行われる
- 2015(平成27)年
 - ・土地と建物が弘前市の所有となる
 - ・「弘前市吉野町煉瓦倉庫・緑地整備検討委員会」が組織される
 - ・社会実験として「座り場@ひろさき2015」が吉野町緑地にて開催される(事業主体:国土交通省、弘前青年会議所)
 - ・「りんご王国感謝祭 Cross.S」(主催:りんご王国推進会議)のりんご酒フェスティバル会場として使用される
 - ・《A to Z Memorial Dog》が修復作業を終え、倉庫の一部のスペースに展示される
- 2016(平成28)年
 - ・「Snow Art Gallery~スノーアートギャラリー~」が吉野町緑地にて行われる
 - ・平成28年度吉野町緑地周辺整備推進事業として、「れんが倉庫こども写真会」、「光と音のサーカス ワークショップ/弘前公演」、「煉瓦倉庫見学会」が行われた(企画・運営:NPO法人 harappa)
 - ・「光と音のサーカス 弘前公演」には県内外から約300名が来場。出演者:CINEMA dub MONKS(首我大穂、ガンジー西垣)、渡辺敬之、小金沢健人、スズキタカユキ
- 2011(平成23)年
 - ・東日本大震災
 - ・築城400年
- 2016(平成28)年
 - ・平成28年度吉野町緑地周辺整備推進事業として、記憶と再生のワークショップ「布でつくる、クリスマスのオーナメント」(講師:大柳暁)
- 2017(平成29)年
 - ・弘前市吉野町緑地周辺整備PFI事業 公募型プロポーザル方式により、(仮称)弘前市芸術文化施設的设计・建設・工事監理、作品収集・設置、開館準備、運営、維持管理業務を担う民間事業者が決定
 - ・「弘前市美術作品等収集選定委員会」が組織される
 - ・「れんがそうこ部」ができる
 - ・吉野町緑地にて「朗読と映像でつづる野外劇『煉瓦倉庫ものがたり』」が開催される
- 2018(平成30)年
 - ・れんがそうこ部発表会「Bricks~れんがそうこのすべて」開催



撮影:長谷川正之

2000's-

- 2001(平成13)-2002(平成14)年
 - ・「I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME」
 - 横浜美術館(2001年8月11日-10月14日)
 - 芦屋市立美術館(2002年1月19日-3月31日)
 - 広島市現代美術館(2002年4月7日-6月2日)
 - 北海道立旭川美術館(2002年6月14日-7月28日)
 - 国際芸術センター青森開館
- 2004(平成16)-2005(平成17)年
 - 「From the Depth of My Drawer」
 - 原美術館(2004年8月11日-10月11日)
 - 金津創作の森 アートコア ミュージアム-1(2004年10月19日-11月28日)
 - 米子市美術館(2005年2月10日-3月21日)
- 2006(平成18)年
 - ・村上善男 没(享年73)
 - ・2月27日、弘前市、岩木町、相馬村の3市町村が合併
 - ・青森県立美術館開館
 - ・展覧会会期中に期間限定のカフェ「graf media gm:HIROSAKI」がオープン
 - ・展覧会オリジナルの焼印入りお菓子が販売される
 - ・まちなか情報センターに期間限定のカフェができる
 - ・ラッピングバスや青森県立美術館と展覧会場をつなぐバスが走る
 - ・無料貸し自転車・サイクルネットに「A to Z」ステーションが設置される
 - ・六花酒造より「A to Z Cup House」が発売される
- 2008(平成20)年
 - ・十和田市現代美術館開館



《吉野町》2009年
撮影:今泉忠淳

2010's-

- 2011(平成23)年
 - ・東日本大震災
 - ・築城400年
- 2016(平成28)年
 - ・平成28年度吉野町緑地周辺整備推進事業として、記憶と再生のワークショップ「布でつくる、クリスマスのオーナメント」(講師:大柳暁)
- 2017(平成29)年
 - ・弘前市吉野町緑地周辺整備PFI事業 公募型プロポーザル方式により、(仮称)弘前市芸術文化施設的设计・建設・工事監理、作品収集・設置、開館準備、運営、維持管理業務を担う民間事業者が決定
 - ・「弘前市美術作品等収集選定委員会」が組織される
 - ・「れんがそうこ部」ができる
 - ・吉野町緑地にて「朗読と映像でつづる野外劇『煉瓦倉庫ものがたり』」が開催される
- 2018(平成30)年
 - ・れんがそうこ部発表会「Bricks~れんがそうこのすべて」開催

